

者でして、悪気なくこれをやられてしまうとどこまでが三国志演義でどこからが歴史の三国志なのかわかりにくくなってしまいます。そこで、三国志演義の混入度合いについてはわかるように紹介をしていきます。この点について言及がなければ、混入なしと（私が判断したと）考えてください。

## 4-1.人物について知りたい

三国志に興味を持つ場合、まず人物、キャラクターから興味を持つのではないのでしょうか。屯田の革新性に惹かれた～とか、九品官人法を詳しく知りたくて三国志ファンになったんだよ～とか、そういう人は見たことがありません。人物について詳しく知るには何を讀んだらいいのかを紹介していきます。

### ■三国志 きらめく群像

筑摩書房 高島俊男（著） 2000年 ISBN-10:4480036032

1994年刊行の大修館書店『三国志人物縦横談』の文庫版。「正史」、正史三国志、裴松之注、資治通鑑、三国志演義について解説してから三国志の主要人物について解説している本です。取り上げたエピソードが裴松之注からの場合、引用元の書物を明記して「だから信用できる」「なのでこの話は小説」と解説してくれ、実際に自分が正史三国志に当たった場合どのように各記述を読むべきか参考となります。各エピソードは当時の時代背景などバックグラウンドを合わせて説明してくれるためわかりやすく、読みやすいです。何分書かれたのが20年以上前のため内容が古い部分もありますが、まさしく初心者のための正史三国志入門書です。

### ■三国志 人物事典

新紀元社 小出文彦（監修） 1999年 ISBN-10: 4883173100

人物ごと項目が用意されているので、人物のエピソードを知りたい場合にうってつけです。正史の記録と演義での記述が明確に分けられて書かれていて混同しないようになっているのも良いです。各人の出身地が必ず書かれているのはそれぞれの関係性を知るのに有益